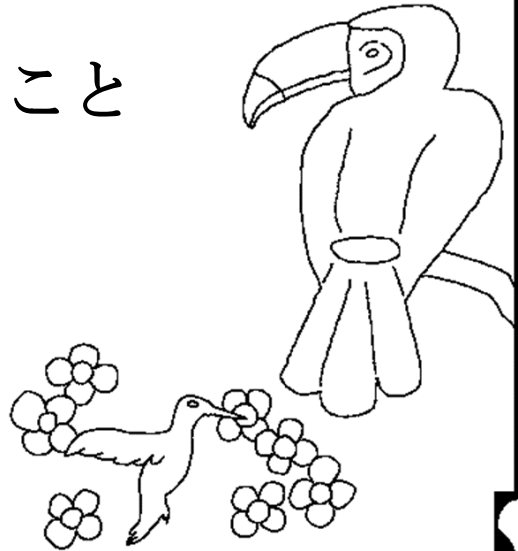
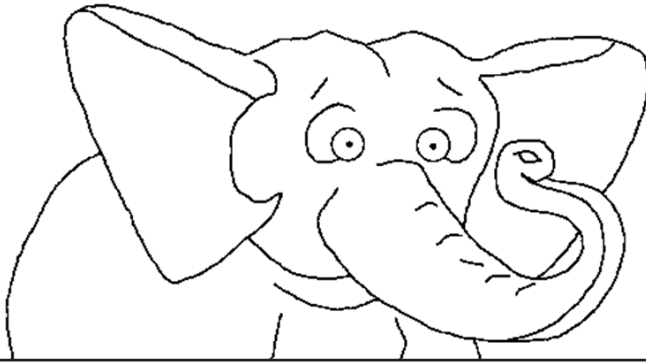


こども
子供のインターネットバイブル
案内いたします

かみ
神さまが、すべてのもの
とき
をつくられた時のこと



ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Byron Unger; Lazarus

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅっぱんしゃ
出版社: Bob Davies; Tammy S.

60 話の第 1 話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよ 伊 たにん う 伊 伊 伊 伊 伊 伊 伊
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

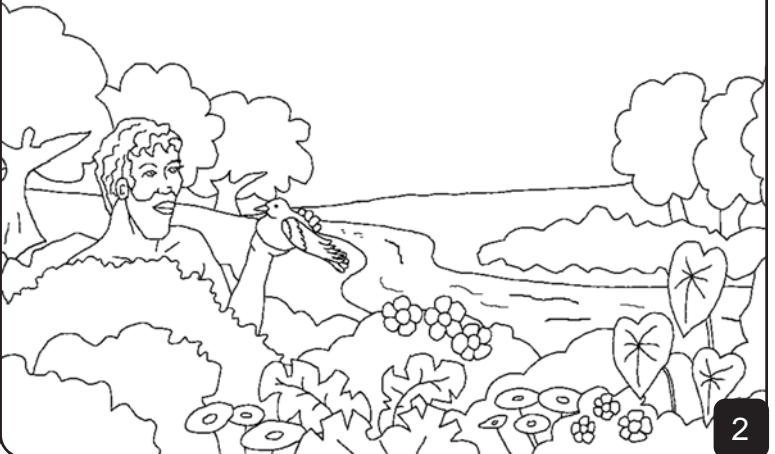
Japanese

わたし
いったいだれが、私たちをつくったのだろう。せいしょ かみ
聖書、つまり神さまのことばは、
私たち人類が どのようにして 始まったかを教えてくれています。
ずっとずっと昔のことです。かみ
神さまは、いちばん初めの人をつくり、
なまえ かみ
アダムと名前をつけられました。神さまは、
ちり
アダムを地の塵からつくられたのです。



1

いき ふ いのち あた
それから、アダムに息を吹きかけて命を与え、
い
生かしてくださいました。アダムは、
じぶん その よ うつく にわ お
自分がエデンの園と呼ばれる美しい庭に置かれていることに気がつきました。



2

神さまが、アダムをつくれる前のこと。神さまは、すばらしいものでいっぱい満ちあふれている美しい世界をつくられたのでした。神さまは、少しずつ、少しずつ、いろいろなものをつくっていかれました。小高い丘や広い草原、香りのいいお花や高い木々、キラキラした羽の小鳥たちやブンブン飛び回るみつばちさん、元気に泳ぎまわるくじらさんやズルズルはいまわるヘビさんたち。



ほんとうに、そこにあるすべてのものみんな、
神さまがつくられたのですよ。

3

いちばん初めの時、そうです。神さまが、まだ何にもつくられていなかった時のこと。神さまがいらっしゃる他は、ほんとうに何もなかったんです。光もなければ、水もない。上もなければ、下もない。昨日もなければ、今日もない。



4

ただ、まだ何も始められてない神さまだけが、いらっしゃいました。それからなのです。神さまがつくりはじめられたのは、初め 神さまは、天と地をつくられました。



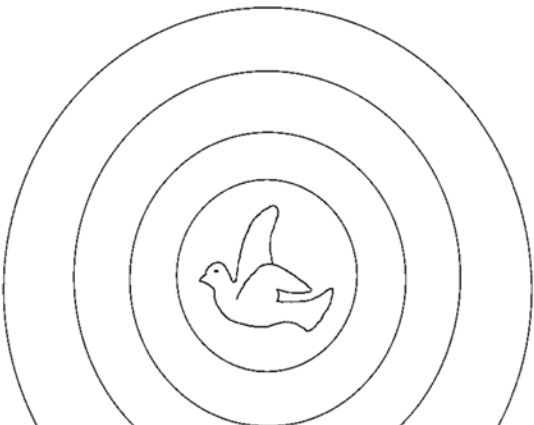
5

その地は形もなく、何もありませんでした。ただ、真っ暗な闇が、どこまでもどこまでも果てしなくおおっていました。そこで神さまは、口を開かれました。「光、あれ。」と。



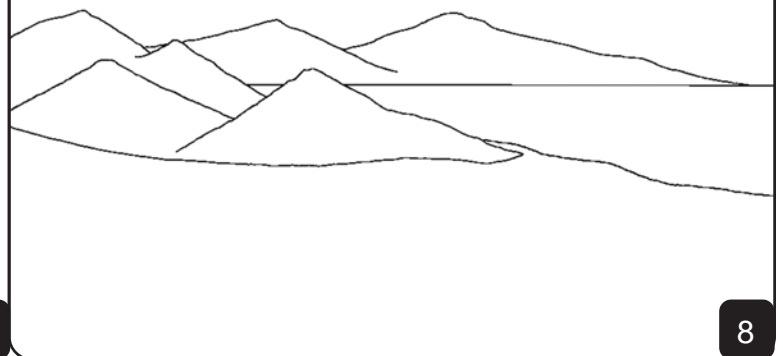
6

すると、なんとまあ 光が出てきたのです。神さまは、光を昼、闇を夜と名づけられました。こうして夕となり朝がやってきました。第一日目です。



7

二日目、神さまは水を運んでこられました。それを大空のもとできちんと太洋や海や湖に分けられ注がれたのです。三日目、神さまは言われました。「さあ、乾いた土地が現れるように。」と。そしてそのようになりました。



8



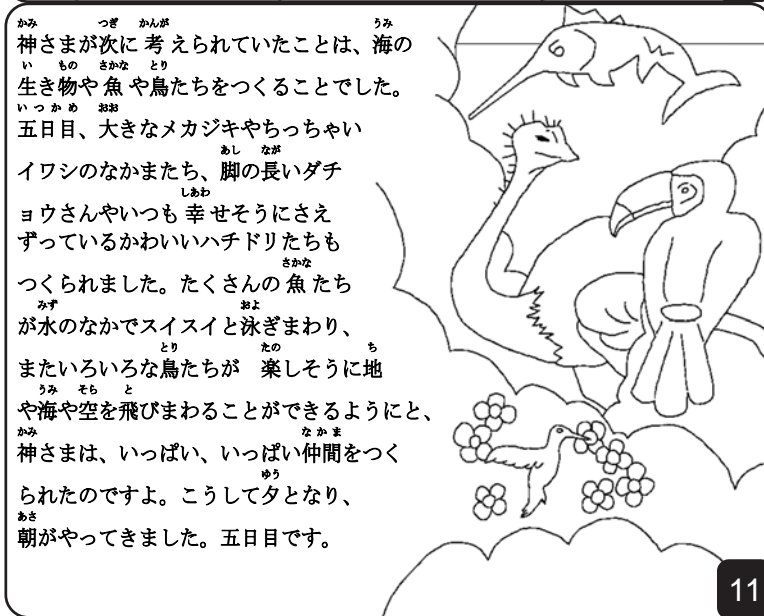
また、神さまは命令されました。「草や花、
そして低い木や高い木が現れるように。」
と。すると、そのようになりました。
こうして夕となり朝がやってきました。
三日目です。

9



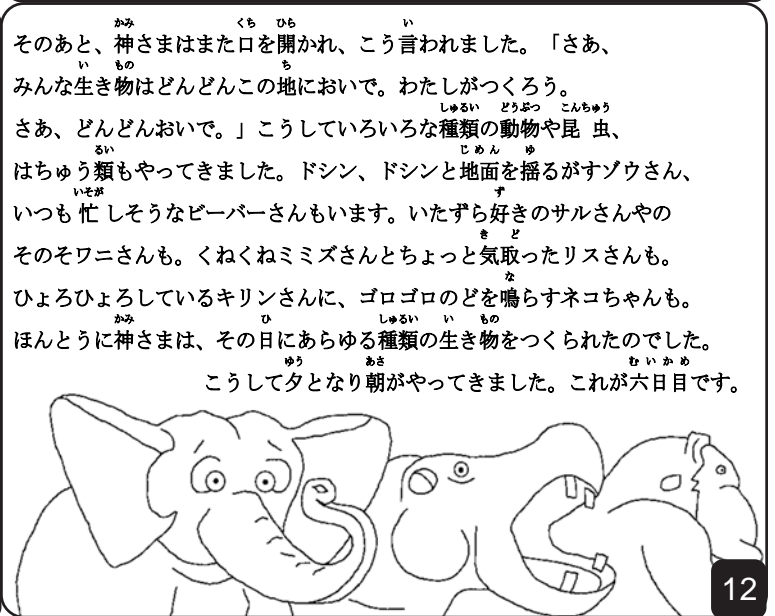
それから神さまは、太陽、月、
数えきれないほどたくさん星をつくられました。
こうして夕となり朝がやってきました。
四日目です。

10



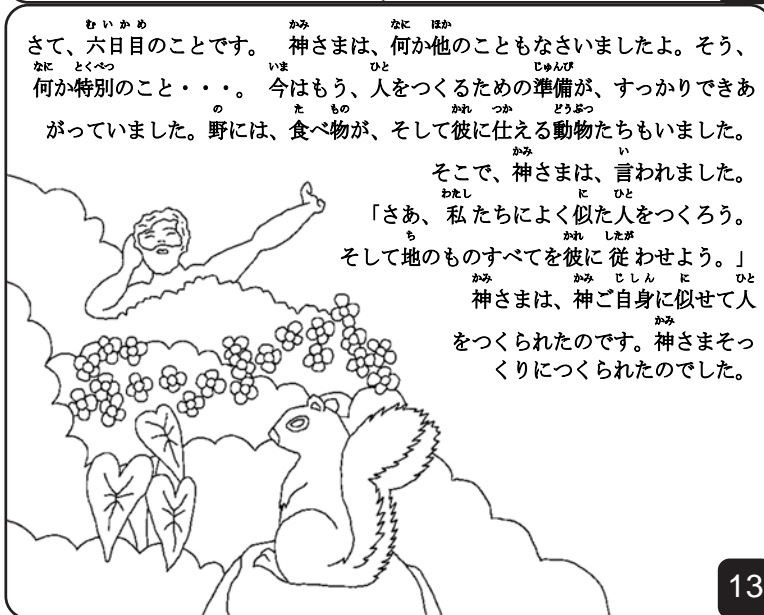
神さまが次に考えられていたことは、海の
生き物や魚や鳥たちをつくることでした。
五日目、大きなメカジギやちっちゃい
イワシのなかまたち、脚の長いダチ
ヨウさんやいつも幸せそうにさえず
っているかわいいハチドリたちも
つくられました。たくさん魚たち
が水のなかでスイスイと泳ぎまわり、
またいろいろな鳥たちが楽しそうに地
や海や空を飛びまわることができるようにと、
神さまは、いっぱい、いっぱい仲間をつ
くられたのですよ。こうして夕となり、
朝がやってきました。五日目です。

11



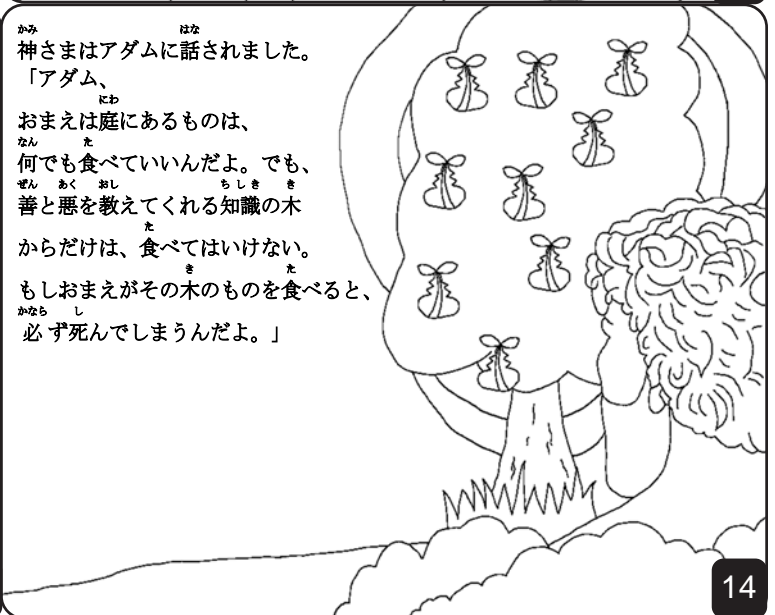
そのあと、神さまはまた口を開かれ、こう言われました。「さあ、
みんな生き物はどんどんこの地においで。わたしがつくろう。
さあ、どんどんおいで。」こうしていろいろな種類の動物や昆虫、
はちゆう類もやってきました。ドシン、ドシンと地面を揺るがすゾウさん、
いつも忙しそうなおじいさんもいます。いたずら好きのサルさんやの
そのソワニさんも。くねくねミミズさんとちよっと気取ったリスさんも。
ひよろひよろしているキリンさんに、ゴロゴロのどを鳴らすネコちゃんも。
ほんとうに神さまは、その日にあらゆる種類の生き物をつくられたのでした。
こうして夕となり朝がやってきました。これが六日目です。

12



さて、六日目のことです。神さまは、何か他のこともなさいましたよ。そう、
何か特別のこと・・・。今ももう、人をつくるための準備が、すっかりできあ
がっていました。野には、食べ物、そして彼に仕える動物たちもいました。
そこで、神さまは、言われました。
「さあ、私たちによく似た人をつくろう。
そして地のものすべてを彼に従わせよう。」
神さまは、神ご自身に似せて人
をつくられたのです。神さまそ
くりにつくられたのでした。

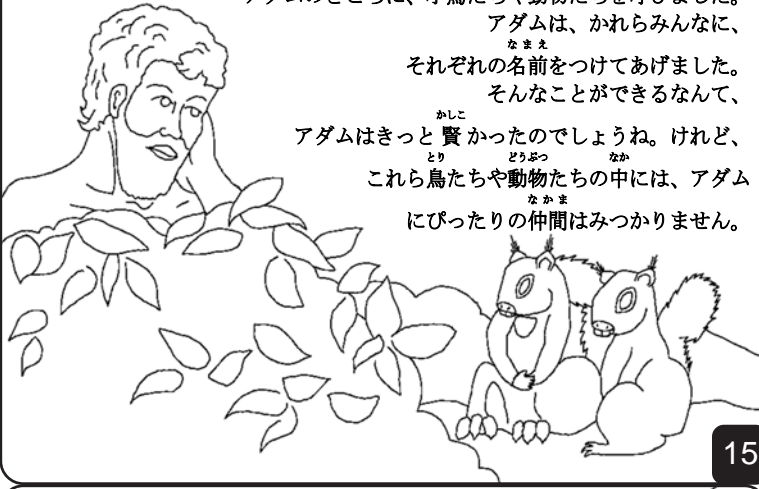
13



神さまはアダムに話されました。
「アダム、
おまえは庭にあるものは、
何でも食べていいんだよ。でも、
善と悪を教えてくれる知識の木
からだけは、食べてはいけない。
もしおまえがその木のものを食べると、
必ず死んでしまうんだよ。」

14

そしてまた、主なる神は言われました。「人が一人にいるのは、よくない。さびしいだろう。私は彼に仲間をつれてこよう。」神さまは、アダムのところに、小鳥たちや動物たちを呼びました。アダムは、かれらみんなに、それぞれの名前をつけてあげました。そんなことができるなんて、アダムはきっと賢かったのでしょうね。けれど、これら鳥たちや動物たちの中には、アダムにぴったりの仲間のみつかりません。



15

そこで神さまはアダムを深い深い眠りの中につれて行かれました。そしてぐっすり眠っているアダムから、あばら骨を一本とってその骨から女の人をつくられたのです。神さまがつくられたその女の人は、アダムの仲間として本当にぴったりの人でした。



16

神さまは、六日間ですべてのものをつくられました。それから神さまは七日目を祝福なさって、その日を休みの日とされました。エデンの園では、アダムと彼の妻のエバは神さまに従いながら、ほんとうに幸せに暮らしました。神さまは、二人にとって主であり、養ってくださる父であり、そして友達でもあったのです。



17

神さまが、すべてのものをつくられた時のこと
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

創世記 1 章 -2 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをととも愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスが十字架で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくださいましたのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょに生きていくことができます。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3 : 16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！